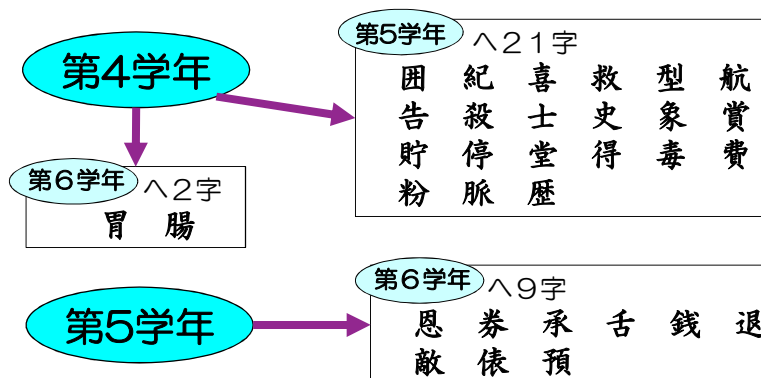


1 新学習指導要領解説のポイント

学習内容の改善・充実

⑤漢字指導の改善・充実

〔知識及び技能〕



1 新学習指導要領解説のポイント

学習内容の改善・充実

⑤漢字指導の改善・充実

〔知識及び技能〕

学年別漢字配当表の各学年の字数

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年	計
平成20年告示	80字	160字	200字	200字	185字	181字	1006字
平成29年告示	80字	160字	200字	202字	193字	191字	1026字
増減	0	0	0	+2	+8	+10	+20

1 新学習指導要領解説のポイント

国語科の目標（現行学習指導要領）

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる。

1 新学習指導要領解説のポイント

国語科の目標（新 学習指導要領）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

1 新学習指導要領解説のポイント

国語科の目標（新学習指導要領）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

各学年の目標

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
知識及び技能	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	(2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをまとめることができるようにする。	(2) 筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語を大切にして思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

1 新学習指導要領解説のポイント

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び
技能

(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

思考力、判断力、
表現力等

(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

学びに向かう力、
人間性等

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

1 新学習指導要領解説のポイント

言葉による見方・考え方を働かせ、

「主体的・対話的で深い学び」における
「深い学び」を考える鍵

児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること

自然科学や社会科学の視点から理解すること・・・ではなく、

言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのもの
を学習対象とする

1 新学習指導要領解説のポイント

国語科の目標

国語科で育成を目指す資質・能力

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、**国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

知識及び
技能

(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

思考力、判断力、
表現力等

(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

学びに向かう力、
人間性等

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

1 新学習指導要領解説のポイント

国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、**言語活動を通して**、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び
技能

(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

思考力、判断力、
表現力等

(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

学びに向かう力、
人間性等

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

1 新学習指導要領解説のポイント

国語科の内容 の構成

(現
行)

「A話すこと・聞くこと」
「B書くこと」
「C読むこと」
+
〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕



(新)

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項
- (3) 我が国の言語文化に関する事項

〔思考力・判断力・表現力等〕

A話すこと・聞くこと
B書くこと
C読むこと

〔学びに向かう力、人間性等〕

指導事項のまとめりに
は示さない

3 授業実践例 次世代型教育推進センターHPより

<授業実践例 4年 のはらうた>

展開

- 1 「つかむ」
 - ①教科書の詩を音読し、詩集づくりの見通しを立てる。
 - ②野原の住人の性格や思いを想像して話し合う。
 - ③好きな詩を発表し、工夫して音読する。
- 2 「深める」
 - ①詩を書くための言葉を集めて構想を立てる。
 - ②「言葉のスケッチ」をもとに詩を下書きする。
 - ③3人の「推敲グループ」で詩を読み合った後、消書する。
- 3 「まとめる」
 - ・ 8人グループで発表会を行い、単元全体を振り返る。
- 4 「広げる」
 - ・ (課外) 作った詩を詩集にまとめ、家族に紹介する。